

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	男女平等が実感できる生活の実現			総合計画コード	612
部名	総務部	主管課名	人権庶務課	主管課部課コード	020300
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす 目的成果	市民一人一人が、性別に関わりなく、その個性と能力を発揮することができ、男女平等が実感できる生活が実現している。				
施策概要	①異性間の暴力の根絶に向けて、情報提供や相談体制の充実、関係機関との連携強化に取り組む。 ②政策や方針の立案及び決定過程への男女共同参画の推進を図る。 ③地域団体や事業所に向けて、男女平等の意識啓発や情報提供、格差解消への協力を求め、男女共同参画を推進していく。				
個別計画 関連計画	計画名称	第2次朝霞市男女平等推進行動計画	計画期間	H 28 年度	～ H 37 年度
				H 年度	～ H 年度
				H 年度	～ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	・朝霞市女性センターにおいて専門の相談員による相談業務(毎週火曜日・土曜日10:00～16:00)を実施した。(年102回) ・職員によるDV相談(火曜日から日曜日9:00～17:00)を実施した。 ・女性総合相談(毎週木曜日10:00～15:00)を実施した。(年51回) ・DV相談において庁内や関係機関との連携を図り、相談業務のスキルアップに努めた。 ・DV予防のための啓発(デートDVの予防を含む)を広報紙への掲載や、リーフレットを公共施設に設置した。 ・市の審議会等への女性委員の登用率の実態把握を行った。 ・市民活動団体と連携して講座を開催し、地域団体における女性の積極的な活動の支援を図った。				
H28年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	異性間暴力の根絶に向け、意識啓発や情報提供やDV相談を実施し、安心・安全なまちとなるよう努めた。			
	子育てが しやすいまち	子どもを含むDV被害への支援に向けた相談体制を充実させ、子育てがしやすくなるよ			
	つながりのある 元気なまち	政策や方針の立案及び決定過程への男女共同参画の推進に向け情報提供し、つな			
	自然・環境に 恵まれたまち	自然・環境に恵まれたまちを創り出すための政策や方針の立案及び決定過程への男女共同参画の推進に向け情報提供に努めた。			
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度
		12,691	—	—	—

指標名 (説明)		単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
			目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
			実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
①	配偶者等から暴力を受けた場合に誰かに相談する女性の割合	%	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	80	80 (H31年度実施)
	(説明) 配偶者等から暴力を受けた場合に誰かに相談する女性の割合(5年に一度、市民意識調査を実施)		— (未実施)	—	—	—	—
②	各審議会等での女性委員登用率が30%以上の審議会等の割合	%	50	50	55	55	60
	(説明) 各審議会等での女性委員登用率が30%以上の審議会等の割合		45	—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	☐ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ☐ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ☐ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ☐ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ☒ C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点) (説明) 男女平等推進行動計画及び実施計画に基づき、相談事業を中心に取り組んでいるが、順調に進捗している。また、市民活動団体と連携して講座を開催し、地域団体における女性の積極的な活動の支援を図ることができた。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	☐ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ☐ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ☒ B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ☐ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ☐ C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない (説明) DV相談等の内容や件数、また全国的な状況を勘案すると、引き続き暴力の根絶や被害者の支援に向けての取組が重要であると考えられる。また、性別に関わらず誰もが市政に参画しやすい機会を提供できるよう、引き続き男女共同参画の視点に配慮し積極的に行政情報を提供する必要があると考えられる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) DVの防止策の啓発の充実、またDV被害者の救済として関係機関及び関係各課との連携が重要である。また、市政のあらゆる分野に男女双方の意見が反映されるよう、市の審議会等における委員の男女比率の均衡に努めていくことが重要である。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 ☐ 重点化 ☐ 内容の見直し (説明) ・政策や方針の立案や決定過程への男女共同参画を進めていくとともに、DV被害者の保護、支援体制など、配偶者暴力相談支援センター事業の充実に努める。 ・市内事業における男女平等の啓発や情報提供、格差解消への協力の依頼に努める。					
行政と市民の役割分担	☐ I 行政の関与(役割)を拡大 ☒ II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ☐ III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) ・啓発活動については、市民の協力を得ながら啓発に努める。 ・相談体制については、女性センターを中心に関係各課と連携を図りながら警察、医療機関等との連携も図る。 ・支援体制については、庁内の連携はもとより、関係機関との連携を密にし被害者の自立支援を進める。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 男女平等相談事業	9,704	12,691	4	4	現状のまま
	2 男女平等推進事業	—	—	4	4	現状のまま
	3 女性センター管理事業	—	—	4	4	現状のまま
	4					
	5					
計 (単位:千円)		9,704	12,691	—	—	—
☐ 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載						
審議会等の第三者機関の評価(意見)	男女平等推進審議会 ・市の職員について女性管理職が少ないということからも、積極的な是正をしていただきたいとの意見をいただいた。					
部長の意見	相談業務にはきめ細かに対応することが肝要であり、引き続き関係機関との連携を密にしながら業務に当たっていく。 また、意思決定過程や地域団体・事業所における男女平等について、情報提供や意思啓発を継続的に行っていくことが必要であり、状況把握を行いながら推進に努めていく。					